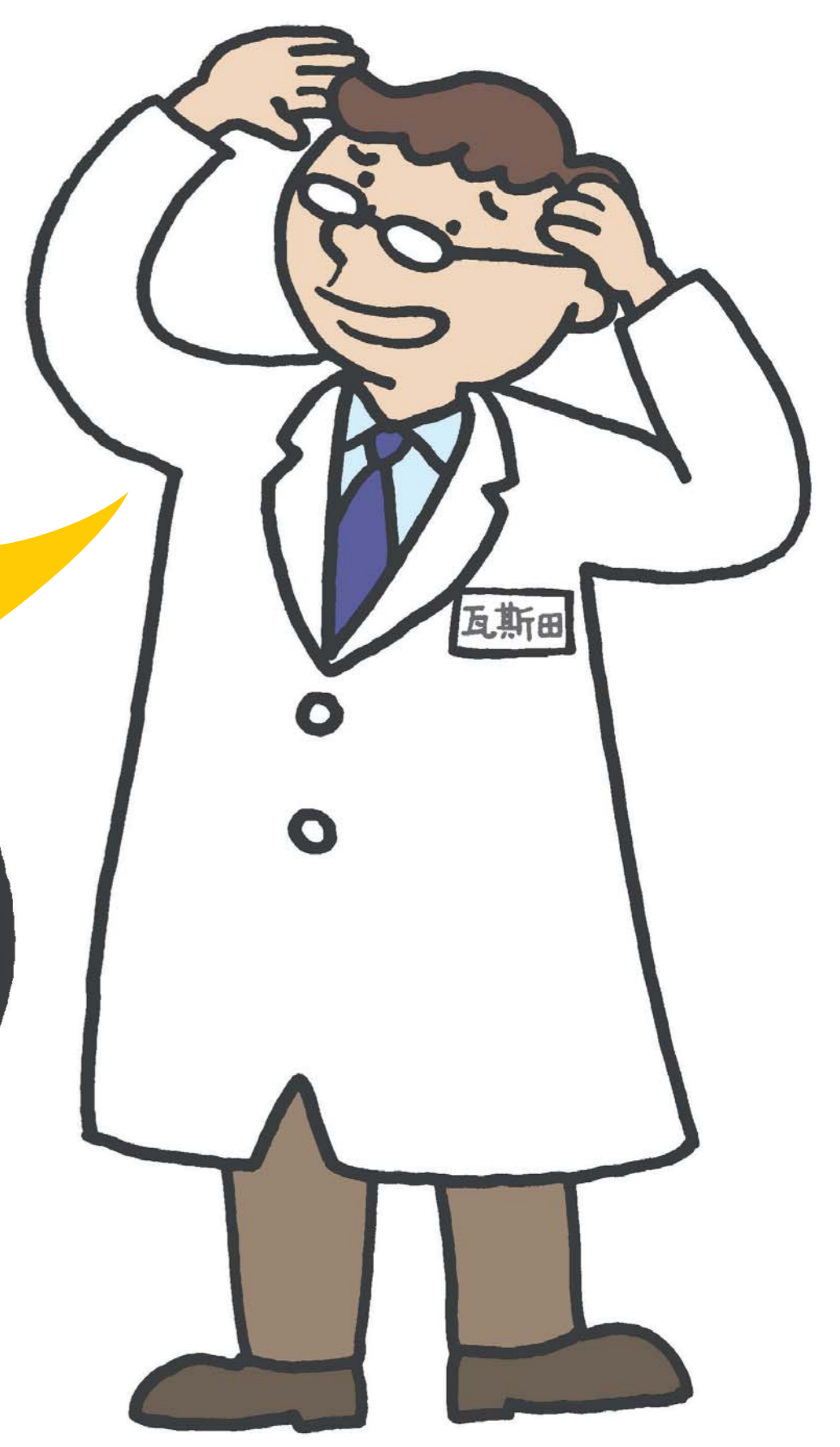




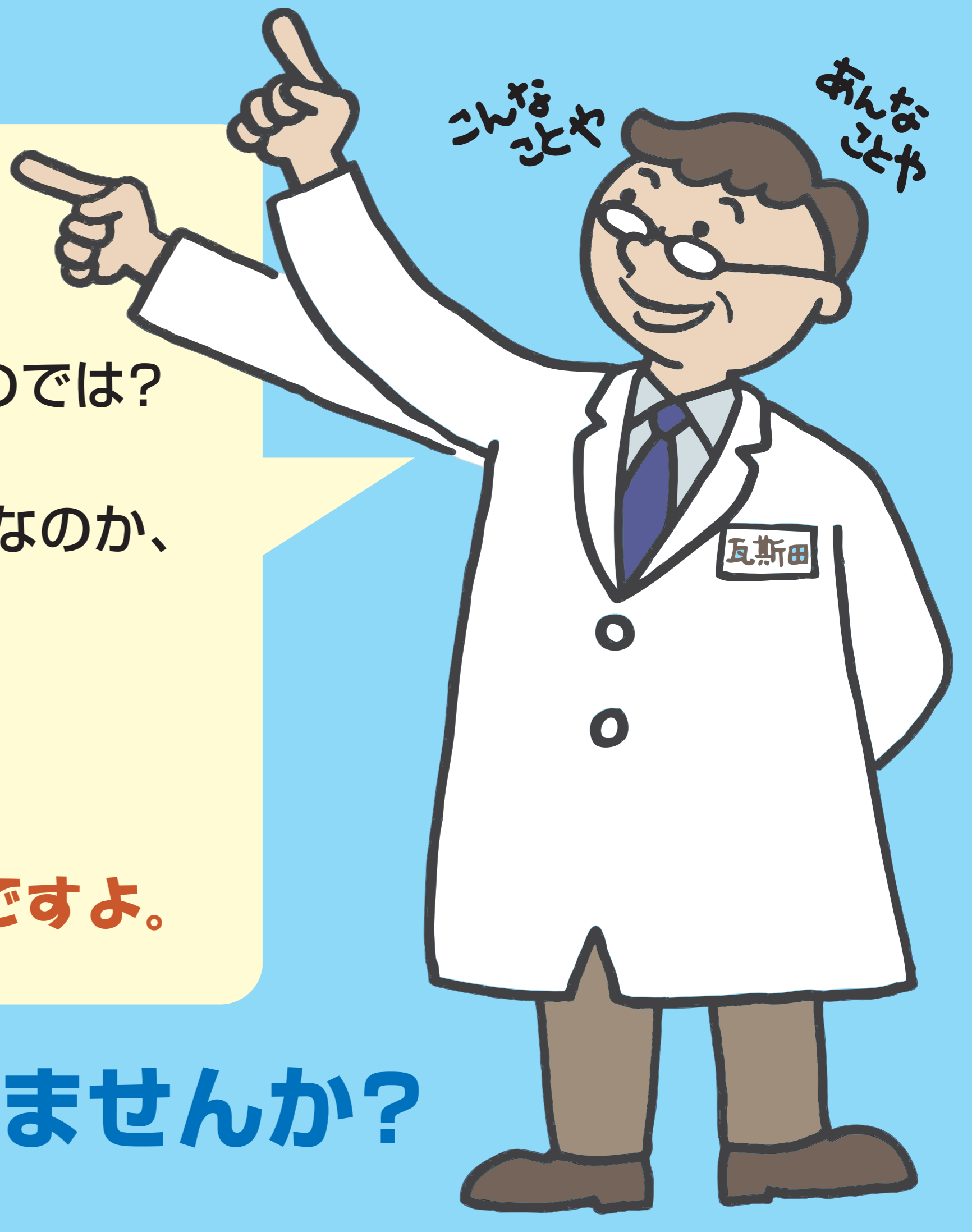
ええ、オール電化にしようと思っただけなのに...

ガスを使わないなんて もったいないない!!!



こんにちは。もったいない研究所の瓦斯田がすだです。
最近オール電化が話題になっていますね。
そろそろ我が家も...とお考えになっているご家庭も多いのでは？
でも、決めるのはちょっと待ってくださいよ。
オール電化住宅は本当に『おトク』で『安心』で『ステキ』なのか、
本当にガスを使わなくなってもいいのか、
まずはその目でお確かめください。

**ガスのいいところも知らない、
もったいない!!ですよ。**

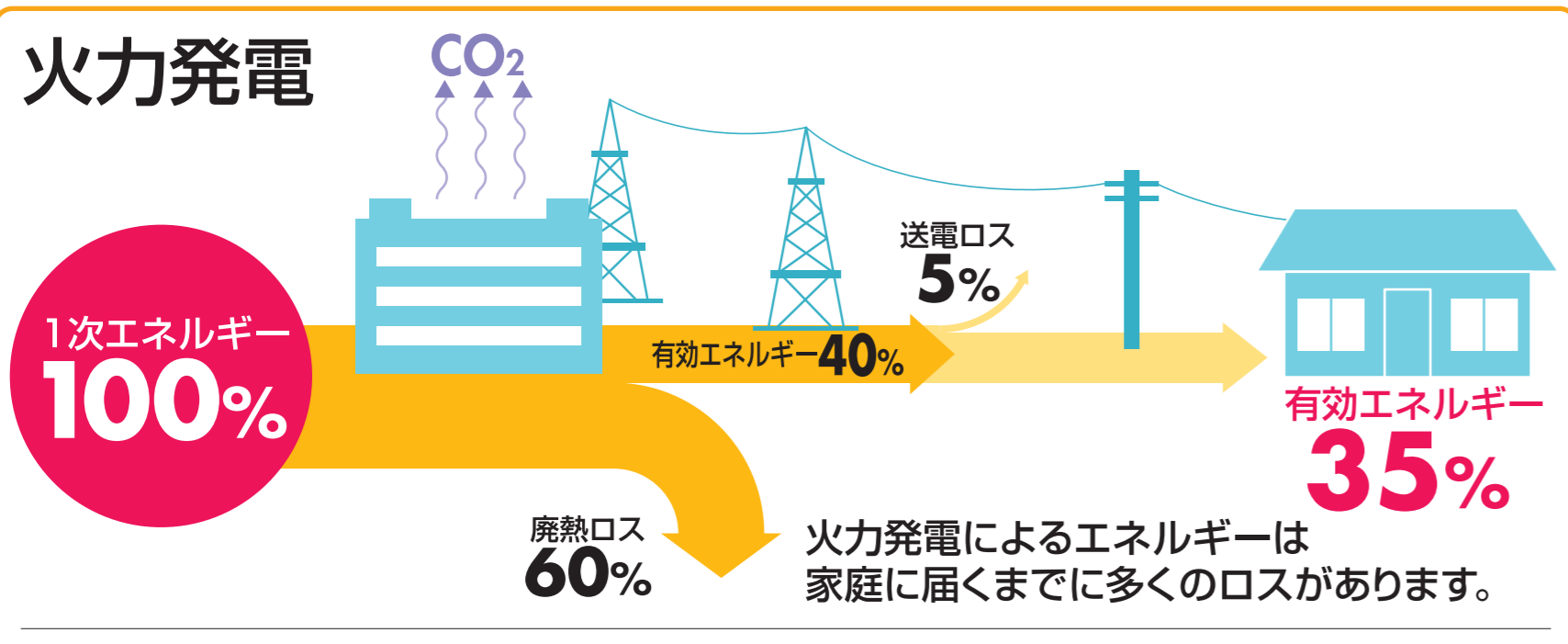


CMのイメージだけで決めつけていませんか？

環境編

電気とガス、 クリーンでエコなのは 環境を考えると、 家庭に届くまでの流れも考えて。

火力発電所で作られる電気は100のエネルギーで作っても、家庭に届いたときには1/3になっている!



これからのエネルギーとして注目!
燃料電池
環境にやさしい、高効率発電。
燃料電池とは、ガスを化学反応させることによって直接電気を取り出す、新しい発電システムのこと。電気を使う場所で発電するので、送電ロスが無く、発電の際発生する熱も利用することができます。また、CO₂排出量も少なく、環境にもやさしいことから、注目され始めています。

1次エネルギー **100%** → 利用困難な廃熱 **20%** → 有効エネルギー **80%** (電気+熱)

ガスの配管がないと導入できない!?

近い将来、エネルギーのスタンダードになりうる燃料電池。しかし、最初からオール電化にしてしまった住宅にはガスの配管設備がないため、このシステムが導入できません。これって、もったいない話ではありませんか？

CO₂排出量比較

ガスコンロ **100** < 電気コンロ **200以上** (火力発電)

同じ量のお湯を沸かす場合、電気コンロはガスコンロよりもCO₂を2倍以上も排出します。

火力発電は日本の発電量の約60%を占めています。私たちは自分の目に見える部分のことしか考えませんが、見えない部分のことを考えたら、ガスの方がエネルギーとして効率がよく、地球にもやさしいのです。

**そんなガスを使わないなんて
もったいない!!**

毎日当たり前に使っているガス、いいことがたくさんあるんです。電気もガスも、限りある資源で作られているエネルギー。適材適所で使い分ける『ベストミックス』が一番です。

